



日頃、愛知工業大学の地域防災研究センター「地震に強いものづくり地域の会（あいぼう会（通称））」で三河・尾張の企業防災力の向上に尽力されているみなさんに、中部技術事務所保有の災害対策用機械の体験見学を通じて国土交通省の災害支援の取り組みを知っていただきました。今回の体験見学が今後の相互協力のきっかけになれば幸いです。

- 日時 令和5年7月25日（火） 13:30～16:00
- 場所 中部技術事務所構内及びDXセンター（名古屋市東区大幸南1-1-15）
- 見学者 愛知工業大学 地域防災研究センター「地震に強いものづくり地域の会（あいぼう会）」 28名
- 内容 対策本部車・排水ポンプ車（30m³級）・照明車（10m級・20m級）の操作体験
無人化施工バックホウの遠隔操作体験
待機支援車・衛星通信車・橋梁点検車（バケット式）の見学



（上）照明車の操作体験
（左）引退予定の照明車（10m級）



（下2つ）排水ポンプ車
実排水状況の見学
状態監視システムの説明



対策本部車 格納体験

（下2つ）バックホウの遠隔操作体験



（左から）待機支援車・衛星通信車・橋梁点検車の見学



Twitter
やってます

